

# こみゅにてたいむ

## コミュニティ助成事業



平成24年度は深山神社神楽の衣装などを整備しました

コミュニティ助成事業は、宝くじの収入を財源として、(財)自治総合センターが実施するもので、地域が自主的に行う活動に必要な設備などの整備に対して助成される制度です。

メニュー	助成内容	助成金
一般 コミュニティ	環境美化、健康増進、交通安全、防犯、まつり、運動会、文化、学習、レクリエーション、福祉活動などに必要な施設・設備	100～250万円
地域防災 組織育成	情報連絡、消防、水防、救出救護、給食給水、避難などに必要な器具	30～200万円 ※組織によって助成金額が変わります
コミュニティ センター	コミュニティセンター建設、センター内設備の整備	1,500万円まで(対象総事業費の3/5以内)
青少年健全 育成	スポーツ・レクリエーション活動、文化・学習活動、コミュニティイベントなどのソフト事業	30～100万円

今年度は一般コミュニティ3団体、(足沢部落会、東仁左平地区センター運営委員会、大萩野地区振興会)、コミュニティセンター1団体(大村町内会)が採択されました。

申請時期は例年10月中旬から11月初旬となっています。募集については広報でお知らせしますが、関心のある団体は事前に地域振興課までお問い合わせください。

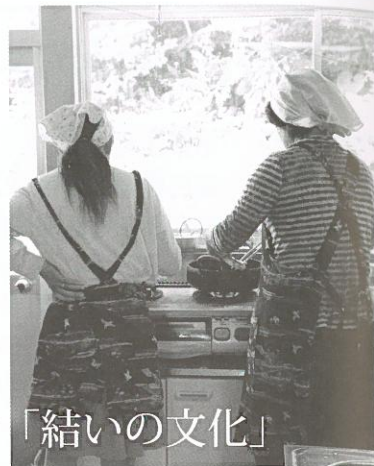
申請した全ての団体が採択されるものではありません。あらかじめご了承ください。

問い合わせ、申込先 地域振興課(内線382)

# たからぼの中



五かき目 「結いの文化」



**私**が最初に就いた仕事は、お客様をチームでもおもてなしするという接客の仕事でした。それ以来、お客様とふれあう仕事が好きになり、以後就いた仕事もほとんどが接客業。食に関係する仕事も多く、仕事でもプライベートでも「食」や「おもてなし」は自分の興味の対象で、常に自分の傍らにありました。私の食いしん坊は、仕事の影響が大きいのもかもしれません。そんな「公私共々、食」好きの私が今夢中なのが「雑穀料理」。

雑穀のおもてなしレシピを知りたいな...と思っていたところ、足沢地区のお母さんチームが、八戸からバスツアーでいらっしゃるお客様を「雑穀バイキング」でおもてなしするという情報をキャッチ。「お手伝いをさせてください!」とお願ひし、念願かなって足沢の奥様が集う厨房へお邪魔させて頂いたとき、学びと気づきでいっぱいの大変素晴らしい経験を見せていただきました。足沢のお母さんは、一人一人がとても料理上手。4月の広報でも書きましたが、二戸のお母

さんは皆さん手先がとても器用!その上、作業一つ一つがとても丁寧なので、家庭料理の枠を超えた仕上がり。バイキングは、沢山のお料理を並べるため、かなり膨大な作業量になるはずなのですが、皆さん阿呼の呼吸で分業し、全ての行程が、最後まで気持ちよいほどスムーズに進んでいました。長年、接客や飲食に携わり、現場のチームワークの重要性、チーム作りの難しさを思い知っている私には、このチームワークの良さは本当に驚きでした。二戸地域には「結い」の文化

があり、かつては女性が冠婚葬祭の度、皆で集まって料理を作ってきたという歴史があると聞きました。機会があるごとに、地域総出で料理を作ってきた歴史や経験は、きっと皆さんのDNAに組み込まれているのでしょう。「結い」という「協調の文化」が生み出す見事なチームワーク。このチームワークこそ素晴らしい財産だと思います。「結い」の文化が息づくこの地には、お互いを活かし合える「人」が集まっている。それが二戸の宝!なんです。 (地域おこし協力隊・永井尚子)